

ロータリーは機会の扉を開く

# Rotary Club of SUGITO 杉戸ロータリークラブ週報

## 2020～2021 年度 RI のテーマ Rotary Opens Opportunities



会長 折原 正昭 幹事 野口美津夫

<http://www.sugito.club>

### 第2589回例会 2021年2月4日

2月(4日・11日・18日・25日)休会になりました

#### 2月結婚祝

野口久正(8日) 折原正昭(18日) 日向英実(23日)

矢島紀一(28日) 中川定雄(28日)

#### 2月誕生日

小川勝之(8日) 田中昌夫(8日)

矢島紀一(11日)

#### 会長あいさつ



折原会長

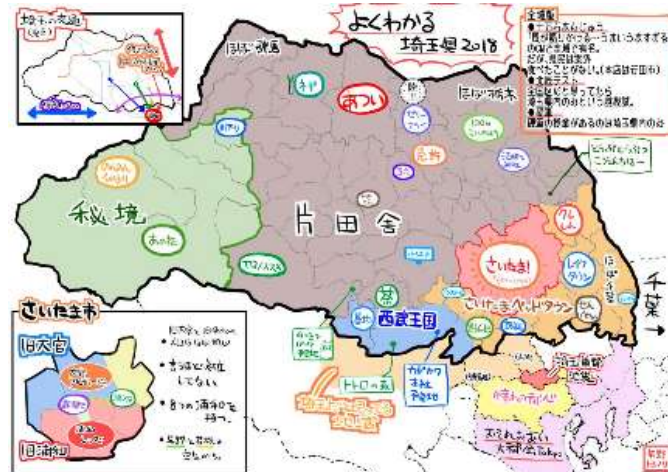


皆様こんにちは。この度、政府は10都府県の緊急事態宣言延長を決定致しました。それに伴い、杉戸RCの例会も休会とさせていただきます。会員の皆様におかれましてはこのようなクラブ運営になりますことにご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

さて、昨年度からのテレワーク推進により、多くの企業がテレワークの導入をしているようです。それに伴いマイホームを郊外に求める方も増えて来ているようで、私たちの業界でも埼玉県内の住宅着工戸数が増えたというデータがあります。また、総務省の発表した住民基本台帳に基づく人口移動調査によると埼玉県への転入超過数は全国で3番目の多さとなっています。まさにテレワークの導入が進み、東京まで適度な距離の埼玉県への流入が増えた結果となったようです。県内で見てみると、さいたま市が最多の1万922人、川口市が2383人、上尾市が1372人だそうです。県内63市町村の半数以上の38の自治体で転入超過となりました。杉戸町も調べたのですが人口移動調査の転入出のデータがHPで見つけられなかったの、人口増減を見てもみますと残念ながら減少です。人口は1年間に295名減少しています。では近隣自治体ではどうかといいますと宮代町▲177名、春日部市▲746名、幸手市▲630名と全て減少しています。埼玉

県東部地域は特徴がないところが特徴みたいな地域で、突出したところはないけれども大きな減点もない「普通」なところ。それだけに人々の移住欲を掻き立てるものは少ないのかもしれませんが、普通の良さをもっとアピールしていくことが今後の課題なのではないかと感じております。

【埼玉県おもしろマップ発見】 会長あいさつとは関係ありません



#### 会員報告

田中啓司会員

2011年3月11日の東日本大震災から今年で10年になります。この震災で約1万5千人もの尊い命が奪われ、未だに約2千5百人の方が行方不明のままです。また復興庁によると今年1月13日現在の避難者数は約4万2千人とのことです。昨年3月までに震災関連で倒産した企業数は1,946件で、そのうち事務所や会社の直接損壊は224件(11.5%)、他は取引先などの被災による販路縮小などが影響した間接的な被害によるものだそうです。地震自体を防止することはできませんが、被害を軽減するための対策はできます。新型コロナのような感染症も発生自体を防止できれば良いのですが、感染した場合に重症化しないような対策が必要です。その一つがワクチン接種なのかもしれませんが、特効薬が出来るまでは未だ安心できない気がします。



話は変わりますが、コロナ禍がもたらしたものとして、テレワークが可能となり、仕事の効率化が進んだそうです。日本の雇用形態も、これまで主流だったメンバーシップ型(人に仕事を割り当てる)から、比較的テレワークに向いているジョブ型(仕事に人を割り当てる)に変わっていきだろろうと言われてます。しかし、どちらにもメリット・デメリットが在りますので、業務形態に合わせて巧くバランスさせることが必要と思います。在宅勤務では気になることが在ったら直ぐに現場を視に行ったり、人に話を聞きに行ったりできませんし、何より雑談ができませんので、少々ストレスを感じています。一番のストレス発散法は、自然を五感で観察しながら「歩くこと」だそうです。早く感染を気にせず、昼は芝の上を歩きながら、夜は盃を傾けながら語る日待ち望んでおります。



## RI メッセージ(要約) RI 事務総長 ジョン・ヒューコ

ポリオ根絶とその他の疾病予防の取り組みにおいて先頭に立つロータリーは、新型コロナの拡大を抑えるという明確な責務があります。慎重を期し、かつ会員、職員、その家族の健康を守るという責任を維持するため、RI 理事会は、本年度の残りの期間、会長、会長エレクト、財団管理委員長を除くリーダーが、直接対面式の会議に出席する経費を支給しないことを決定。これは、理事、管理委員、地域リーダー、地区ガバナー、G補佐、そのほかのリーダーに適用されます。



理事会は、本年度の残りの期間の理事会と RI 委員会のすべての会合、および 2021 年国際大会をバーチャルで実施することに同意。多くの方がこの知らせに落胆されていると思いますが、理事会は一貫した明確な方針を採用する必要があると感じました。人道的組織である RI は会員と地域社会を守る責任を果たさなければならず、新型コロナの脅威は現在も広い地域で続いています。理事会は、地域リーダー、地区ガバナー、クラブ会長、その他の方々に対し、本年度の残りの期間バーチャルで会合を開くよう勧告しています。

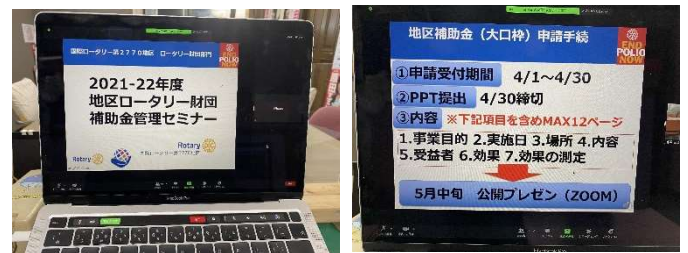
今後数カ月間、コロナ禍と闘う活動を行っていく中で、私たち全員が果たすべき重要な役割があります。皆さまのロータリーでの奉仕に感謝申し上げますとともに、安全にまた会える日が来ることを切に願っております。皆さまのご健康をお祈りしております。

## 会員報告

栗原会員

2/6(土)1:30 よりZOOMによる財団セミナーに参加。このセミナーにクラブとして参加しないと地区補助金を使用することはできません。次年度地区役員ではなく杉戸RCとして出席しました。地区役員含め約 200 名の方がZOOM参加していました。今年度大口補助金があるというそうで、期間は 4/30 日までの応募期限です。是非チャレンジしたいですね。

また余談ですが、自分が作成したPP資料がいつまでも使われているのはうれしいですね。



## RI メッセージを受けて

中里公造ガバナー

1/7 に日本政府より新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令され、地区内のクラブ、そしてロータリアンの皆様に、例会を含むロータリー活動の自粛をお願いしてきました。まもなくその期限 2/7 を迎えますが、ご承知の通り2/2の政府発表により、その期限が3/7まで延長されることになりました。

宣言発令以降、新規感染者の数は埼玉県でも減少傾向がみられますが油断は禁物です。地域社会の皆さんとともに歩むロータリーとして、日本政府のこの度の決定を重く受け止め、緊急事態宣言が解除されるまでは、前回同様の対応をお願いすることといたしました。

2770 地区内会員の皆様にも、今回の緊急事態宣言延長に伴い、今後も、ご家族、従業員の皆さんを含め、自らの命を守る行動を常に心がけてほしいと思います。そして引き続き「ロータリアンとして範たる行動を！」緊急事態宣言が解除されるまでは、下記の 1-5 にご協力ください

1. ロータリー活動の中で リアル での接触は控える
2. 例会はオンライン例会を活用 (もしくはハイブリッドの場合、例会場出席者を極力少なくする) ※マイロータリーではバーチャル会合の「勧告」ではなく「推奨」となっているため
3. 休会にする (クラブ定款第 7 条 第 1 節「例会」(d)-(3)を活用)
4. 理事会や各委員会もオンラインを活用する
5. オンライン例会導入を、可及的速やかに検討してください